



ユニバーサル社会の実現には  
ハード整備だけでなくソフト施策も

ユニバーサル

人それぞれが様々なサポートを必要としています

高齢者

車いす  
使用者等

ベビーカー  
利用者

訪日  
外国人

介助者

児童

多言語サポート



街歩きサポート



乗車サポート

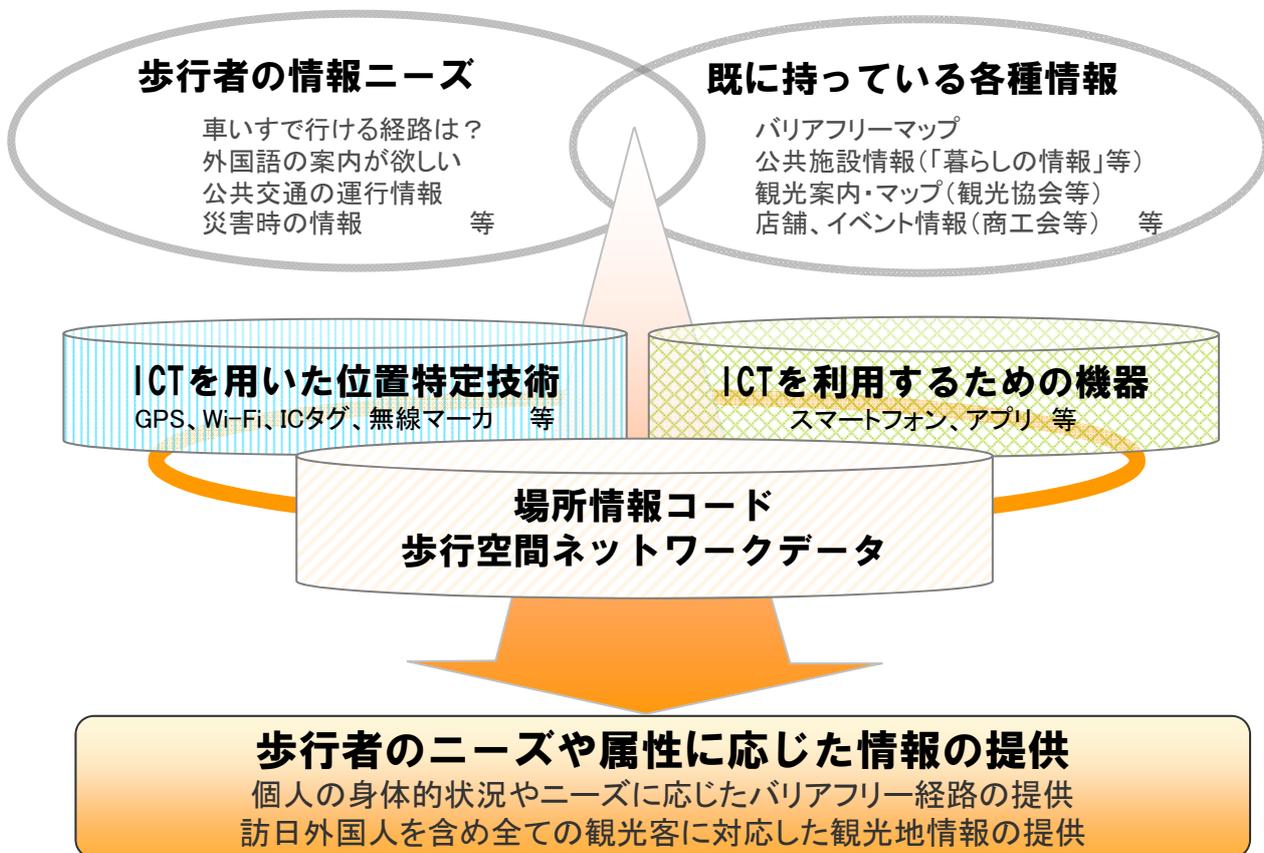


観光サポート

社会に対応した  
歩行者移動支援サービス

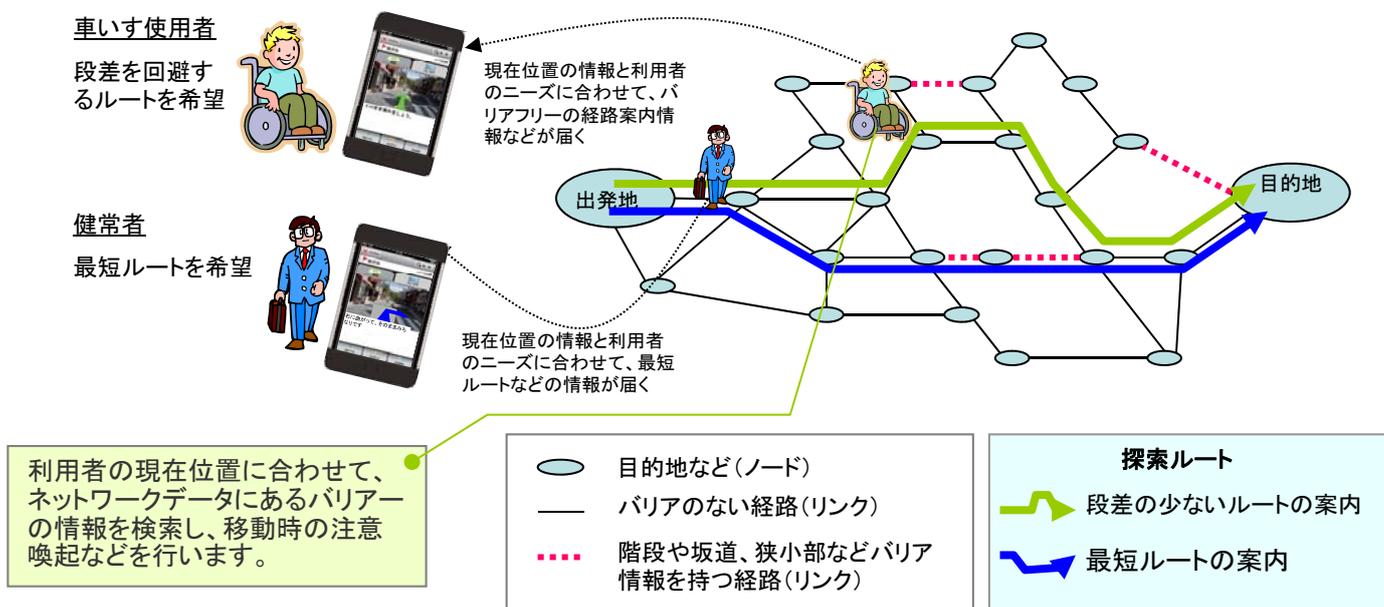
# サービスの内容と仕組み

歩行者移動支援サービスは、様々な場面における利用者の情報ニーズに応え、移動経路や地域情報等を提供できるサービスで、スマートフォン等を通じ、ダイレクトに個人へ情報提供できる仕組みです。



# サービスを支える歩行空間ネットワークデータ

歩行空間ネットワークデータが整備されると、階段、道幅、段差等を避けた、個人の身体的状況やニーズに応じたバリアフリー経路の検索が可能となります。



# サービスの具体例（各地のサービス）

## ◇車いす使用者等にバリアフリー経路を提供

街歩き 観光



伊勢地区では、パーソナルバリアフリー基準に基づき、障がいや高齢によって身体が不自由な人たちに向けて、伊勢での快適かつ安全な移動と観光を楽しんでいただくためのバリアフリー経路等の情報を提供

【PickUp】伊勢神宮内のオリジナルイラストマップを用いた宮内及び周辺地区のバリアフリー情報を提供しています。

●サービスの問い合わせ先  
伊勢・旅パリアフォン開発協議会  
電話0599-21-0550（NPO法人伊勢志摩バリアフリーセンター 取次）

## ◇公共交通と連携して地域情報を伝達

乗車 街歩き



長崎地区では、低床路面電車の位置情報を利用者に提供して利便性を高め、支援を必要とする利用者の乗車意思等を運転手に伝達するサービスを実施

【PickUp】長崎地区では、さらに、電停周辺のバリア情報、バリアフリー情報、観光関連情報をスマートフォンの地図やカメラ機能等を用いて提供しています。

●サービスの問い合わせ先  
低床車運行情報等提供サービス『ドコネ』  
(<http://www.naga-den.com/kikaku/rinzi/dokone.htm>)

## ◇外国人に外国語サービスを提供

多言語 観光



坂道や石段の多い温泉街で、地図・ARカメラ・音声を用い、巡回バスとも連携した「まち歩きガイド」を実現し、さらに、日、中(繁体)、英の多言語コンテンツ提供によりインバウンド強化を図る

【PickUp】洪川地区では、アプリ内の「お勧めルートボタン」を押すと、旅の目的や所要時間に合わせて複数のルートを推奨。移動制約者に適した専用ルートも複数用意しています。

●サービスの問い合わせ先  
洪川地区観光特別宣伝協議会推進協議会  
電話 0279-72-3151（洪川伊香保温泉観光協会 取次）

## ◇その他の工夫事例

乗車 観光 安全

- ucodeQRタグを利用したバス停での行き先案内
- 歩行ナビとともに地域の人が登録した新鮮な情報を受け取れるサービス
- 児童にアクティブタグを携帯させ、登下校記録を通知する児童見守りサービス

# システムの組合せと費用の目安

- 既存のインフラやデータを活用などの工夫をすることにより、サービスの構築費用を安価に抑えることが可能です。
- サービスに利用できる様々なアプリケーションのツールが提供されており、それらを組み合わせてサービスを構築することも可能です。

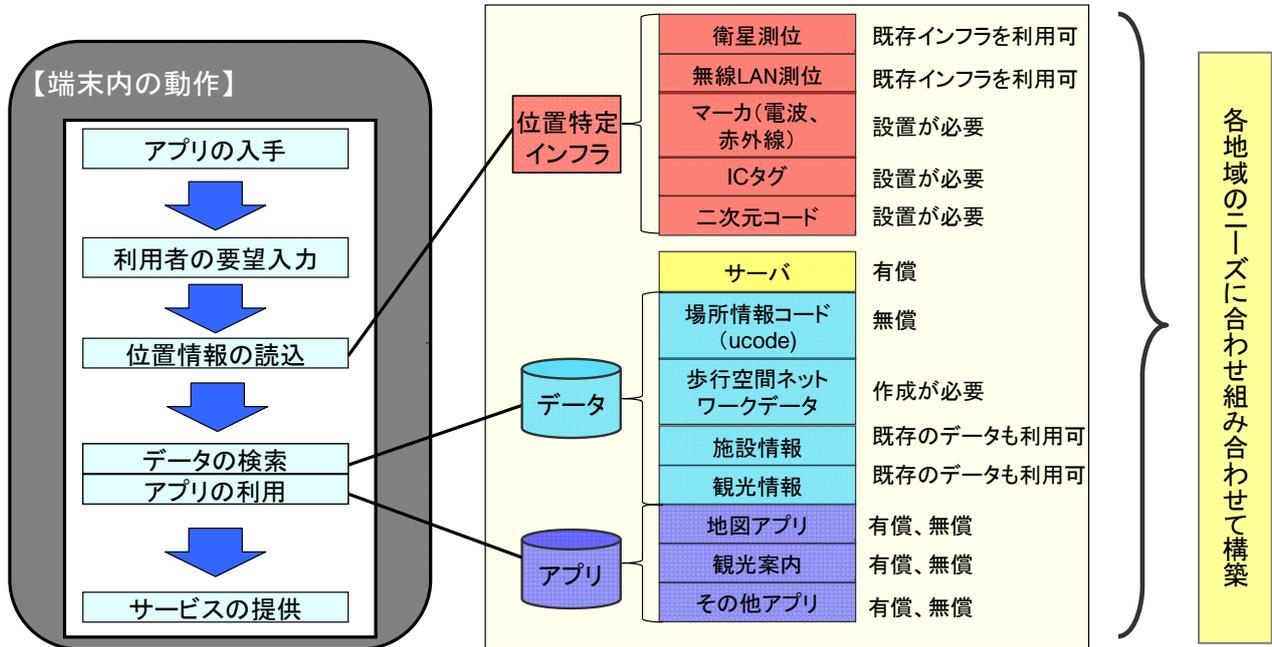


表 サービスの構築／維持に係る支出項目と費用の目安

費用項目	概算範囲(費用の目安) <sup>※1</sup>	
	導入費	運用費(年間)
位置特定インフラの設置／保守	既存インフラ活用～	0～約1万円
サーバの設置／保守	約20～70万円	約5～70万円
歩行空間ネットワークデータの整備／(維持・更新)	約10～20万円/km	(0～約5万円/km) <sup>※2</sup>
携帯端末アプリの作成／維持	約350～500万円	0～約30万円
合計(目安)	約400～600万円	0～約100万円

※1 概算範囲は、平成23、24年度に実施された「ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に係る現地事業」の実施主体への聞き取りに基づいて整理したもの。

※2 歩行空間ネットワークデータの維持・更新費用は整備規模や整備方法等により変化します。

## ■サービスの仕組みや関連技術に関する情報

・ICTを活用した歩行者移動支援(ICT TOP(メニューページ) >

[http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku\\_soukou\\_mn\\_000002.html](http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html)

ICT TOP 歩行 検索

・「歩行者移動支援サービスの導入に関するガイドライン(仮称)(案)」(平成25年3月)

・「ICTを活用した歩行者移動支援システムの水平展開に向けた事例とノウハウについて」(平成23年5月)

・「歩行空間ネットワークデータ整備仕様案」(平成22年9月)

## ■問い合わせ先

国土交通省 総合政策局総務課(併)政策統括官付

住所: 東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 中央合同庁舎2号館12階

電話: 03-5253-8794 FAX: 03-5253-1675



国土交通省 「ユニバーサル社会」の実現に向けた取組みを推進しています。

(平成25年12月)